

vol.127  
2013. 7

# 営繕とうほく

発行  
東北地方整備局  
営繕部  
盛岡営繕事務所



東日本大震災で津波浸水被害を受け、復旧工事を行った気仙沼地方合同庁舎

## CONTENTS

平成25年度 東北地方整備局営繕部業務概要 . . . . .	2
震災復旧工事（その4） . . . . .	3～5
・気仙沼地方合同庁舎、仙台第4地方合同庁舎、仙台法務総合庁舎	
保全ニュースとうほく . . . . .	6～7
・平成25年度「東北地区官庁施設保全連絡会議」の開催について	
・夏期の節電対策について	
完成施設紹介 . . . . .	8～9
・福島地方・家庭・簡易裁判所	

# 平成25年度 東北地方整備局営繕部 業務概要

東北地方整備局営繕部では、地域社会への寄与、環境への配慮、災害に対する安全の確保、利用者の利便性の向上、長期的耐用性の確保など、国土交通省の施策に沿って業務を行っています。

また、現下の厳しい財政状況の中において重要な、官庁施設の既存ストックの有効活用について、より少ないコストで行政サービスが着実に提供されるよう、「官庁施設のホームドクター」として培ってきた技術力を集結して適切な施設整備と、施設管理者に対する保全指導を行っています。

更に東北地方における営繕行政の連携を図るために、各地方公共団体等との会議、研修会、各種講習・講演会等を実施します。

## 平成25年度事業費

平成25年度の事業費総額は約71億円となっており、そのうち国土交通省所管予算としての「官庁営繕費、特定国有財産整備費」が73%、各省庁より委任を受けて実施する「支出委任」が27%の割合になっています。

## 主要営繕工事

### ■特定国有財産整備費による工事

広域防災拠点施設の整備として、仙台第1地方合同庁舎増築棟の工事を進めます。

### ■官庁営繕費による工事

震災により被災し、昨年度より工事を進めてきた石巻港湾合同庁舎を引き続き進めます。

また、塩釜港湾合同庁舎の耐震改修などを進めます。

### ■支出委任による工事

岩手県警察学校の工事を引き続き進めます。また山形法務総合庁舎の建替に着手します。

## 平成25年度 営繕関係事業施設数

	新規・継続の別	施設数	備考
官庁営繕	新規事業	23件	平成25年度 官庁営繕費等事業 19件 支出委任等事業 35件 合計 54件
	継続事業	31件	
	合計	54件	
保全指導・監督室	新規事業	17件	
	継続事業	18件	
	合計	35件	
盛岡営繕事務所	新規事業	6件	※官庁営繕費・支出委任等が混在している事業については、官庁営繕費事業として計上していません。
	継続事業	13件	
	合計	19件	





## ■仙台第4地方合同庁舎

【仙台第4地方合同庁舎】

構造：庁舎 SRC-8-地下2

延べ面積：庁舎 12,326㎡

完成年度：昭和63年度

震度階：震度6弱

仙台第4地方合同庁舎は、津波の被害は無かったものの、地震の揺れにより内外装及び設備の破損・脱落などの被害を受け、復旧工事を行った施設です。

外壁はタイルやコンクリートにひび割れが入り、欠片が周囲に落下しました。復旧するまでの間、第三者等への被害を防ぐための応急措置として、欠片が落下する恐れのある範囲に近づかないようバリケードで囲うなど、施設管理者による安全対策を行っていただきました。

外壁の復旧としては、次のような工事を行ないました。

- コンクリートひび割れ部の樹脂注入
- 損傷したタイルの張り替え
- 屋外への構造補強フレーム（床・壁・柱・梁）の増設



外壁の損傷



構造補強フレーム設置前



構造補強フレーム設置後

光沢がある部分が増設したフレーム。

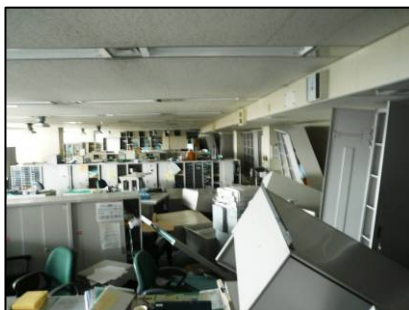
写真中央部分の窓は閉塞し、構造補強している。

屋内では家具の転倒が多く発生しました。金具で固定していた家具の中にも、固定ボルトが揺れに耐えきれず破断し、転倒したものがあります。

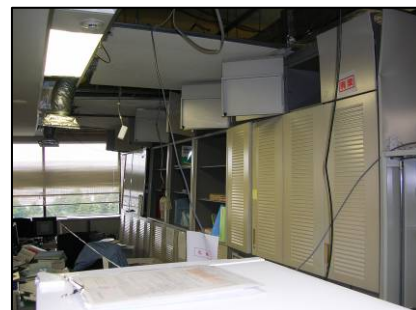
また、転倒家具の衝突による壁の破損、天井ボードや空調吹出口などが脱落するなどの被害がありました。

屋内の復旧工事としては、壁ボード損傷部分の張り替え、落下した天井板・設備類の再取り付け、塗装の塗り替えなど行っています。

庁舎を使用しながらの復旧であったため、事務スペースの制約や、コンクリート解体・穴開け時の騒音などが課題となりましたが、入居官署や来庁者の皆様のご理解・ご協力を頂いたおかげで、工事を無事完成させることができました。



家具類の転倒



天井・器具脱落

## ■仙台法務総合庁舎

当施設には東北管内の検察事務を統括する仙台高等検察庁、宮城県内の検察事務を所掌する仙台地方検察庁が入居しており、災害時においても停止を許されない業務を行っていました。

地震後の当初の調査では、内壁仕上面のひび割れ及び構内舗装面の陥没が目視確認され、仕上げ材の落下や舗装の陥没による事故の恐れがあるため、壁仕上面及び舗装面の復旧を想定していました。しかしながら工事契約後の詳細調査の結果、被災程度は想定していたよりも大きく、ひび割れが一部躯体まで達していることと、舗装下部の地中埋設配管も損傷があることなどが判明し大規模な変更を行った工事です。

今回工事では、特に内部壁のモルタル仕上撤去時の、工事による騒音振動が危惧されましたが、施設管理者の協力により無事故で工事が完成しました。

【仙台法務総合庁舎】

構造：庁舎 SRC-12

地下2階

延べ面積：庁舎 13,352 m<sup>2</sup>

完成年度：平成元年度

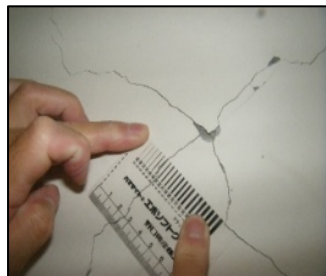
震度階：震度 6 弱



庁舎復旧状況



外構の被災状況



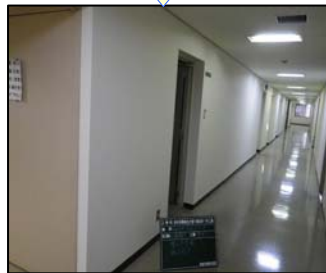
内壁被災状況



事務局長室被災状況



外構の復旧状況



内壁復旧状況



事務局長室復旧状況

また外壁改修については、部分的に漏水が確認されたので、外壁タイル補修だけでなくシーリングの改修も実施しています。

外部と内部を同時に実施したため、近隣への騒音振動が課題となりましたが、無事に完成しました。



外壁被災状況



外壁復旧状況

# 保全ニュースとうほく

## 平成25年度「東北地区官庁施設保全連絡会議」の開催について

東北地方整備局営繕部及び盛岡営繕事務所では「東北地区官庁施設保全連絡会議」を各県庁所在地で開催します。開催日等は下記のとおりです。

平成25年度 東北地区官庁施設保全連絡会議 日程

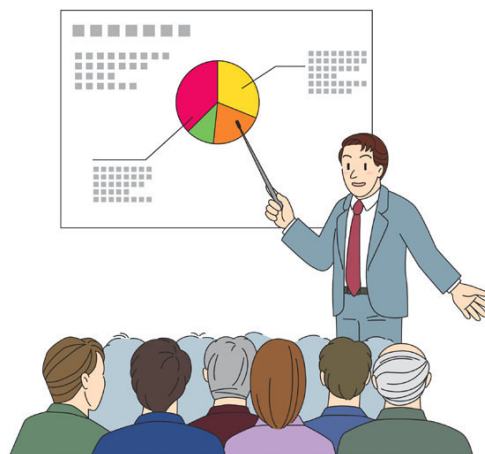
開催日	開催地	会場
7月4日(木)	仙台市	仙台第1合同庁舎 8階 講堂
7月11日(木)	福島市	コラッセふくしま 4階 中会議室401
7月17日(水)	盛岡市	盛岡合同庁舎 5階 共用会議室
7月18日(木)	山形市	山形県生涯学習センター(遊学館) 3階 第1研修室
7月24日(水)	秋田市	秋田第1合同庁舎 5階 第1会議室
7月31日(水)	青森市	青森第2合同庁舎 7階 法務局会議室

本会議は、施設の保全業務を担当されている皆様に出席して頂き、毎年開催しているもので、営繕部保全指導・監督室又は盛岡営繕事務所から各官署へ開催のご案内をさせて頂いております。

会議では、「国家機関の建築物等の保全の現況」や「保全業務の進め方」について説明を行う他、「保全指導結果事例」や「津波対策診断」についても紹介する予定です。

会議終了後には保全に関する各種相談を受け付けます。施設の保全業務に関する悩み事等がありましたら、お気軽にご相談下さい。

相談内容に応じて説明用資料を用意しますので、相談内容を事前連絡して頂けますようお願いいたします。



会議に関するお問い合わせは、下記の窓口までご連絡下さい。

【問い合わせ窓口】 東北地方整備局

営繕部 保全指導・監督室 保全指導係

TEL 022-225-2171 (内線 5536、5537) FAX 022-268-7833

盛岡営繕事務所 技術課 調査・保全係

TEL 019-651-2015 FAX 019-605-8115

# 保全ニュースとうほく

## 夏期の節電対策について

政府は、4月26日「2013年度夏期の電力需給対策について」を決定しました。

震災以降、夏・冬あわせて5回目の節電要請となる今夏は、この電力需給対策において、数値目標が定められませんでした。しかしながら東北電力管内では2010年度最大電力比▲3.8%を定着節電として見込んでおり、この数値を目安に政府は節電要請を行っているところです。

このような状況のもと、以下のような具体的な項目を再確認し、率先して節電に取り組みましょう。

### 主な節電手段

- 冷房中の室温を原則28℃とすることの徹底
- ブラインドの適切な調整
- クールビズの徹底、強化（冷房グッズの活用等）
- 作業に必要な最低基準照度を確保しつつ、照明の削減（蛍光灯の点灯本数を通常の半分程度に間引く等）
- パソコンのディスプレイの輝度調整等の設定変更、スリープモード等の活用
- プリンター、コピー機の稼働台数削減
- 電気ポット、コーヒーマーカー等の原則使用停止
- 冷水器の停止
- 自動販売機の消灯要請
- 使用最大電力を職員向けイントラに掲示する等の電力使用状況「見える化」の推進

各節電の取組にあたっては、執務環境の悪化や安全面に留意する必要があります。

空調は冷房により室内の温湿度環境を整えると同時に、良好な空気環境を確保することも目的としています。基本的な施設の性能を阻害しないよう外気取入れ量等を変える際には、専門技術者のアドバイスを受けることをお勧めします。また、非常用照明や誘導灯など防災用の照明は、安全上・法律上、節電のためにランプを外すなどの間引き点灯をしてはいけません。

東北地方整備局では、昨年に引き続き「夏期の節電への対応」について、技術的な協力・支援を積極的に行ってまいります。お気軽に、最寄りの相談窓口までご相談下さい。

#### 【相談窓口】 東北地方整備局

営繕部 保全指導・監督室 担当者 室長補佐

TEL 022-225-2171（内線 5513） FAX 022-268-7833

盛岡営繕事務所 担当者 保全指導・監督官室長

TEL 019-651-2015 FAX 019-605-8115



## 完成施設紹介 福島地方・家庭・簡易裁判所

本庁舎は、既存施設の老朽及び、事務室等の狭隘を解消し、業務効率の向上を図ることを目的として整備されたものです。平成21年5月に導入された裁判員制度を契機として、裁判所を利用する機会がより多くなることや社会環境の変化に伴う事件の多様化、国民のニーズに対しても、機能が十分発揮できる施設を目指し整備を進めてまいりました。



庁舎外観（南東 福島市役所方面より）

配置計画は南面道路から、庁舎をセットバックし、緑を演出した前庭や既存の石積みを再利用するなど、見通しが良く威圧感の無い計画としております。外観は裁判所の公平性をイメージさせるシンメトリーを基本とし、縦強調の外装タイルを採用することで先進性と品位の創出を図りました。また、官庁街や文教地区の景観をリードする落ち着いたデザインを心がけました。



法廷

所在地	福島県福島市花園町5-38
敷地面積	6,366㎡
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造
	地上5階、地下1階
建築面積	1,793㎡
延べ面積	9,703㎡
工期	平成22年3月～平成25年3月

### ■ 平面計画

構造体をアウトフレームとすることで室内に柱型が出てこないフレキシブルな空間とし、使いやすく安全で将来の施設ニーズにも十分対応できる平面計画としています。

### ■ 内装計画

玄関ホールや法廷には、明るい色調の木材を採用し、暖かみのある落ち着いたデザインとすることで来庁者に心安らぐ場の提供と閉塞感を感じさせない空間づくりを心がけました。

### ■ 環境負荷軽減

裁判所の地域特性に配慮したLCCO2削減の取り組みとして、太陽光発電やLED照明などの技術を採用することで環境負荷の低減をはかりました。



## 新規採用職員紹介



氏 名 石崎 貴弘

所 属 営繕部整備課

出身地 栃木県

本年4月に入省いたしました石崎と申します。

採用から2か月が経ち、分からないことだらけですが、上司の方々に業務内容を教わり、日々勉強に取り組んでいます。温かい上司の方々のおかげで職場の雰囲気にも慣れてきました。

営繕という仕事の大変さを感じ、これから私が一人前になれるか不安を感じる時もありますが、一日も早く、一人前に仕事をこなせるよう、一生懸命努力していく所存です。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



### 営繕とうほく編集室

〒980-8602 仙台市青葉区二日町9-15  
東北地方整備局営繕部計画課内  
TEL (022)225-2171 E-mail: eikei@thr.mlit.go.jp

### ホームページアドレス

■東北地方整備局 <http://www.thr.mlit.go.jp/>  
■盛岡営繕事務所 <http://www.thr.mlit.go.jp/moriei>

「営繕とうほく」は東北地方整備局ホームページでもご覧になれます